

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム実夢大覚寺

目標達成計画

作成日: 令和4年 1月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	毎年度末に来年度の目標を職員と一緒に立案、年間の取り組みも振り返りをおこなっているが玄関に掲示しているのみで読み上げる機会はないため職員全員に浸透していない。	職員全員が年間の目標、理念を共有し実践につなげる。	年間の目標 理念については職員会議や運営推進会議のレジュメを記載し共有を図るとともに、半年に1回、目標の進捗について振り返る機会を持つ。	12ヶ月
2	40	食事介助が必要な利用者はいませんが誤嚥を防ぐ工夫や定期的な食事形態の見直しはおこなっていない。	毎食、口腔体操を実施することで誤嚥を防ぎ嚥下機能の維持、向上に繋げる	口腔体操をおこなうための体操メニューの考案と実施、利用者一人ひとりの食事形態の見直しを2ヵ月に1回おこなう。	12ヶ月
3	49	コロナ禍の中、外出をする機会は近隣のコンビニエンスストアに行く程度と頻度が少なくなっている	日常的な外出の支援や楽しみごとの支援の充実を図るため、自宅の近くや以前の仕事場などなじみのある場所へ行く。	利用者から行きたい場所を聞き、2～3ヶ月に1回、車両を使い希望の場所へ行くことで気分転換を図る	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。